

毎日がすっきりライフ



家の中にも防災意識

矢吹 信子

地震、台風、豪雨、竜巻など、災害は思わぬ時にやってきます。災害に備えて地域の避難場所やハザードマップを確認することもあると思いますが、家の中にも危険な場所があります。

家の中で危険なのは、高い所に置いている物が落ちてきたり、積み上げている物



が崩れ落ちてきたり。また、床に直置きになっている物が避難時に通路をふさいだり、ドアを開けられなくしてしまうことや、つまずきケガをすること

も。家の中のどんなところが災害時に危険なのか、確認してみましよう。不要な物は片付けて、出しっ放しの物は収納するという片付けの基本を守ることが大切です。

片付けで防災の観点から大切なのは、安

全スペースを確保することと防災グッズを準備しておくこと。安全スペースの確保とは、家具を固定し、また、災害時でも通路やドアをスムーズ



に通ったり開閉したりできるように物を片付けておくといったことです。防災グッズとは、避難する時の非常用持出し袋の準備や、ライフラインが使えない場合に備えた食料や生活用品の備蓄です。災害時には家の中でも近づけない場所が出てくることもあるので、備蓄品は数力所に分散して保管するのがおすすめです。

矢吹信子さん

山口市在住。長年の主婦歴を活かせることを考え、整理収納アドバイザー1級、2級認定講師、福祉住環境コーディネーター2級を取得。現在、県内各地で各種セミナーなど開催。一人ひとりの生活スタイルと心に寄り添った整理収納の提案を心がけながら活動中。

